

# 2021年 関西元気文化圏賞 贈賞理由



関西元気文化圏推進協議会

## 大賞

### オリックス・バファローズ

チームとして25年ぶりにプロ野球パシフィック・リーグ制覇。中嶋新監督が「勝利と育成の両立」を掲げて若手選手を積極的に起用しつつチームの総力を結集し、前年まで2年連続最下位からのリーグ優勝を勝ち取った。優勝から最も遠ざかっていた地域・関西で16年ぶり、また、球団統合後として初の優勝でもあり、関西を大いに盛り上げた。



©ORIX Buffaloes

## 特別賞

つかもと やすひろ

### 塚本 康浩(京都府立大学 学長・獣医学博士)

ダチョウ由来の抗体に着目し、その研究に長年取り組んできた京都府立大学の塚本康浩学長らの研究グループは、2021年10月、ダチョウ抗体を担持したフィルター入りの不織布マスクを用いることにより、呼吸から新型コロナウイルスを可視化することに成功した。家庭内でも、スマートフォンのLED光などで簡単にマスク上のウイルスを目視することが可能であり、今後、低コストで簡易なウイルス検出技術の実用化が期待される。



ぶんらく むそう じっこう いいんかい

### 文楽夢想実行委員会

コロナ禍で公演機会が減る中、2021年8月『人形浄瑠璃 文楽夢想 継承伝』として自主公演を実施。芸芸員が中心となり実行委員会を組成し、アーツサポート関西の助成に加えて、初のクラウドファンディングを通じて目標の10倍を超える多額の寄付を集め、公演を見事に実現させた。舞台では若手が中心を務め、先輩はサポートに回り、師匠と弟子、親子での共演など、通常は見られない配役で若手の飛躍にもつながった。大阪発祥の伝統芸能の未来を見据えた取り組みとなった。



撮影：桂秀也

## 東京2020オリンピック・パラリンピック特別賞

### 関西出身の東京オリンピック・パラリンピックメダリスト

7月～9月に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、各競技・種目にてメダル獲得という大なる活躍をし、関西のみならず、日本中の人々に深い感動をもたらし、元気と活力を与えた。

東京2020オリンピック 関西出身のメダリスト			東京2020パラリンピック 関西出身のメダリスト		
福井県	栗原 陵矢 (くりはら りょうや)	男子野球	兵庫県	阿部 詩 (あべ うた)	柔道/女子52kg級、混合団体
	見延 和靖 (みののべ かずやす)	フェンシング/男子エペ団体		阿部 一二三 (あべ ひふみ)	柔道/男子66kg級、混合団体
	吉田 正尚 (よしだ まさたか)	男子野球		坂本 勇人 (さかもと はやと)	男子野球
三重県	向田 真優 (むかいだ まゆ)	レスリング/フリースタイル女子53kg級	和歌山県	田中 将大 (たなか まさひろ)	男子野球
	山田 優 (やまだ まさる)	フェンシング/男子エペ団体	鳥取県	四十住 さくら (よそすみ さくら)	スケートボード/女子パーク
滋賀県	大橋 悠依 (おおはし ゆい)	競泳/女子200m個人メドレー、女子400m個人メドレー		入江 聖奈 (いりえ せな)	ボクシング/女子フェザー級(54-57kg)
京都府	荒野 龍太郎 (あらの りゅうたろう)	空手/男子組手75kg超級			
	大野 雄大 (おのの ゆうだい)	男子野球	滋賀県	宇田 秀生 (うだ ひでき)	トライアスロン/男子 (運動機能障害PTS4)
	山西 利和 (やまにし としかず)	陸上競技/男子20km競歩		木村 敬一 (きむら けいいち)	競泳/男子100mバタフライ (視覚障害S11)、男子100m平泳ぎ (視覚障害S811)
	芳田 司 (よしだ つかさ)	柔道/女子57kg級、混合団体	大阪府	高松 佑圭 (たかまつ ゆか)	陸上競技/混合4×100mユニバーサルリレー (視覚障害、義足・機能障害、脳性まひ、車いす)
大阪府	浅村 栄斗 (あさむら ひでと)	男子野球		中村 拓海 (なかむら たくみ)	ボッチャ/混合チーム(BC1/BC2)
	市口 侑果 (いちぐち ゆか)	女子ソフトボール		和田 伸也 (わだ しんや)	陸上競技/男子1500m(視覚障害T11)、男子5000m(視覚障害T11)
	北園 文琉 (きたぞの たける)	体操競技/男子団体	兵庫県	大矢 勇気 (おおや ゆうき)	陸上競技/男子100m (車いすT52)
	清原 奈保 (きはら なほ)	女子ソフトボール		上地 結衣 (かみじ ゆい)	車いすテニス/女子シングルス、女子ダブルス
	清水 希容 (しみず きょう)	空手/女子形		倉橋 香衣 (くらはし かえ)	車いすラグビー
	内藤 実穂 (ないとう みほり)	女子ソフトボール			
	西矢 純 (にしや もみじ)	スケートボード/女子ストリート			

## ニューパワー賞

そりた きょうへい

### 反田 恭平とJapan National Orchestra株式会社

「第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール」2位の反田恭平氏は、2021年5月、工作機械大手のDMG森精機株式会社の資本協力を得て、「Japan National Orchestra株式会社」を奈良県で設立した。同社は、オーケストラとしては日本初となる株式会社であり、国内外で活躍する音楽家が社員として所属。音楽家自ら活躍の場を創出し、持続的かつ発展的な活動をめざす。奈良を中心に、クラシック音楽を通じた長期にわたる関西の文化振興にもつながることが期待される。



©Japan National Orchestra

かねこ ふみ

### 金子 扶生(バレエダンサー)

2021年5月、世界最高峰の「英国ロイヤル・バレエ団」で最高位プリンシパルに昇格。大阪市出身で、幼少期より吹田市の地主薫バレエ団で研鑽を積む。2008年に「ヴァルナ国際バレエコンクール」で金賞、2009年に「モスクワ国際バレエコンクール」で銀賞に輝くなど、世界三大バレエコンクールで快挙を成し遂げた。2021年8月には、フェスティバルホールでの地主薫バレエ団の公演『未来に繋がる MIX・PRO』に出演し、圧倒的な存在感を放ったところであり、今後の活躍が期待できる。



©LARA CAPPELLI